
死を決意して見えた光景

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死を決意して見えた光景

【Nコード】

N54510

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

浅い記憶の中で、死ぬ決意をして見えた光景

私は今、生きている。しかしながら、過去一度死のうとした事があった。其れまでの過程を語る気は無いが、その時見た光景を浅い記憶だが、ここに残そうと思う。

死を決意し、私はODという選択をした。薬を大量に摂取する。気分は落ち着いており、いや落ち着き過ぎていたかもしれない。辺りの空気が速く流れているような感覚に陥った。

人々の動きがやけに慌ただしく感じられ、普段ならば雑音に聞こえるような、ざわめきも人々の声も、車やバイクの音ですら全く気に障る事のない、穏やかな音に聞こえた。

自分が死のうとしている事を周りの人間は知る由も無いにも関わらず、その行為を『止められるのではないか』とビクビクと辺りを見渡す。辺りの人、子供達は関係の無いように過ごしていた。やがて静寂に包まれたように静かになり、音も無く人々が動いている。映画のワンシーンを無音で尚且つ、スローモーションで見ているようだった。

そして私は、薬の作用により、眠りに落ちていった。

しかし、私は生きている。生きているからこそ、ただ生きているだけの者には絶対に見る事の出来ないモノを見た。

浅い記憶の為、これ以上思い出す事は出来ないが、これは人生において貴重な経験をしたと今は思っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5451o/>

死を決意して見えた光景

2010年10月27日23時23分発行